JEFF ROWLAND
DESIGN GROUP

Model 125

取扱説明書

TAIYO
INTERNATIONAL,INC.

目次

はじめに……2
ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）……3
パッケージの中身……4
パッケージの開梱……4
メンテナンス、お手入れについて……5
ご使用方法……6
フロントパネルの機能と表示……7
リアパネルの接続・名称……8
接続：ステレオモード……9
接続：モノラル（ブリッジ）モード……10
接続：モノラル（バイアンプ）モード……11
故障かな？と思ったら……12
アフターサービスについて……12
仕様……13
問い合わせ先……14

はじめに

　ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループのオーナーとなられましたことを、心よりお喜び申し上げます。お買い上げいただきましたオーディオパワーアンプは、様々な機能コントロールと、インターコネクトの可能性を兼ね備え、最新の技術を結集したステレオパワーアンプです。綿密に設計された回路構成、精密切削加工のシャシー、最新の堅実な製造技術は聴き手に大きな満足と喜びを提供し続けることでしょう。

　Model 125 の設計理念を理解していただきその最高の性能をフルに引き出すためにも、また長年にわたり最良のコンディションでご使用いただけますよう、是非このオーナーズマニュアルをお読みくださるようお願い申し上げます。

　お買い上げのパワーアンプのシリアルナンバーは、SF の文字から始まります。このナンバーは本体のリアパネルに記載してあります。Model 125 に関するお問い合わせの際には、必ずこのシリアルナンバーをお知らせください。

　音やアーティストの表現を再現する際の高邁な理想を実現できるようなアンプをデザインすることは、私にとって純粋な喜びです。この喜びがオーナーの方々の音楽体験をより豊かにできれば幸いです。

Enjoy the music!

ジェフ・ロゥランド
ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ　プレジデント

ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）

本機をご使用になる際には、安全上のご注意をよくお確かめ下さい。
以下の注意事項は安全にお使いいただくために大切な内容です。必ず守るようにして下さい。

警告：誤って取り扱うと、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。
注意：誤って取り扱うと、傷害又は物的損害などの発生に結びつく可能性があります。

[設置上のご注意]

警告

・定格電圧ＡＣ 100V にてご使用下さい。
・付属の AC 電源ケーブルは、本機専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になります。
・ＡＣ電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・ＡＣ電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
・本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。
・水など塗れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにＡＣ電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことを確認してからお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

注意

・本機を設置する際にはこの取扱説明書に従って確実に行うようにして下さい。
・本機の取り出し、及び設置する際には細心の注意をし、慎重に行うようにして下さい。落下等でケガや物損を招く原因になります。
・湿度の多い場所で使用しないで下さい。結露等により故障の原因となります。
・ゴミやホコリの多い場所では使用しないで下さい。
・室内温度が５℃～４０℃の範囲でご使用下さい。
・振動が多く、水平でない場所には設置しないで下さい。機器の落下等でケガや物損を招く原因になります。
・オーディオラック等に納めてご使用になる場合、通風をしっかり取るなど熱のこもりには充分注意して下さい。故障の原因になる場合があります。
・スピーカーケーブルの接続は、AC 電源ケーブルを本体から抜いていることを確認してから行って下さい。AC 電源ケーブルを接続したままスピーカーケーブルの「+」,「–」, シャーシグランド間をショートさせると故障の原因となります。

[お手入れについて]

本体の汚れは、柔らかい乾いた布（シリコンクロス等）で軽く拭き取ってください。ベンジンやシンナーなど揮発性の薬品のご使用は、絶対におやめください。本体の表面が変質する恐れがあります。

リアパネルの端子等のお手入れの際には、必ずＡＣ電源ケーブルを抜き電源をお切り下さい。感電の原因となることがあります。

パッケージの中身

Model 125 のパッケージには下記のものが含まれています。

・Model 125 ステレオ　パワーアンプ（本体）
・AC 電源ケーブル
・3/2 アダプター
・保証登録書
・取扱説明書

注意：付属の AC 電源ケーブルは、専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。

パッケージの開梱

Model 125 の取り出し、及び設置の際には細心の注意で慎重に行って下さい。落下等で怪我や物損を招く原因となります。開梱は柔らかい表面のカーペット等を敷いた上で行って下さい。

開梱後のカートンケース、及び内部パッキン等は、後日の修理及びお引越等で輸送される場合に備えてお手元に保管されるようお勧めします。

※ 本製品は米国ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ社、及び当社において外観、機能ともに入念な検査を重ねて出荷しておりますが、輸送中などの万一のトラブルを考え、ご使用になる前にどこかに損傷がないかを必ずご確認下さい。また到着したアンプが正しく作動しないときはすぐお買い求めの販売店までご連絡下さい。

メンテナンス、お手入れについて

　ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループの製品は、長年に渡りその音楽的性能をお楽しみいただけるように設計いたしました。内部に埃が入らないようにシャシーは密封構造となっており、シャシー内部をクリーニングする必要はありません。内部の回路は調整やメンテナンスの必要がないように、自動調整できるようになっています。
故障時の修理等の際には、お買い求めの販売店か当社サービス課までお知らせ下さい。

　本機のシャーシは継ぎ目のない一体構造としてハード・アルミニウムによるくり抜き加工という､コストを無視した革新的な構造になっています。シャーシはダイヤモンド･カッティングツールで削り出されています。このユニークな工程は、美しく魅力的な製品をお届けするために、長年の研究、試行によって完成されたものです。
表面は通常のオーディオやビデオの表面とは異なっていますので、お手入れの際は以下の点にご注意下さい。

・ 最初の６ヶ月間はフロントパネルのクリーニングは行わないで下さい。この間に表面のコーティングが定着し、表面の傷を防ぎます。
・トップパネル、サイドパネルは、水で湿らせた柔らかい綿布で拭きます。シャシーに跡が残った場合、研磨剤や化学物質によるクリーナーは使わないで下さい。クリーナーが必要な場合は、アンモニアを含まないプラスチック・クリーナーまたはガラス・クリーナーをご使用ください。
・フロントパネルのお手入れには、水またはオイルベースの家具用クリーナーを使用します。必ず柔らかい綿の布につけてから拭いてください。フロントパネルは非常に繊細な仕上がりですので、他のもので拭いた場合、目立つ傷がつく可能性があります。

本機のクリーニングに関する質問は、お買い求めの販売店か当社サービス課までお問い合わせ下さい。推奨しないクリーナー等を使うとシャシーを損傷させる恐れがあります。

ご使用方法

　アンプの設置場所は、できるだけリアパネルの操作が可能な場所に置いてください。

　本機は、ファンや強制的なエア・フローを必要としない発熱の少ない、非常に効率的なアンプです。アンプを安定に動作させるため、ラック等に収納する際には上方に隙間を空けて設置して下さい。

　本機はアンプの最も効率的なオペレーション、あらゆる環境下での最高のパフォーマンスが可能なように、広範囲にわたる保護回路を有しています。しかしアンプを正常動作させるため、以下の基本事項に着目しておいてください。

・定格電圧 AC100V にてご使用下さい。
・湿度の多い場所では使用しないで下さい。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になりかねません。
・AC 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・AC 電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
・本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。(改造されたものは、保証期間内でも保証の対象外となりますのでご注意ください)
・水などで濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐに AC 電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことをご確認の上、お買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのままの状態でご使用になると、火災・感電の原因になります。
・本機を使用の際は、正しくグラウンドされた AC 電源を使用してください。3 ワイヤのグラウンドされた AC ケーブルターミナルが正しくセットされていなかったり、誤って 2 ワイヤのグラウンドされていない AC コードが使用されている場合、故障の原因になりかねません。
・雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するためアンプの AC 電源ケーブルは抜いておいてくださいい。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様に AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。また長期間使用しないときにも AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
・スピーカーケーブルの接続は、AC 電源ケーブルを本体から抜いていることを確認してから行って下さい。AC 電源ケーブルを接続したままスピーカーケーブルの「+」,「–」, シャーシグランド間をショートさせると故障の原因となります。

フロントパネルの機能と表示

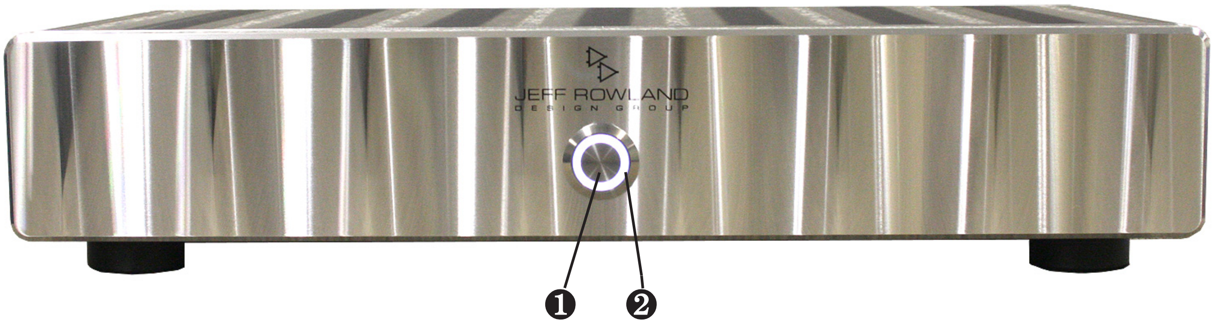


図１：フロントパネル

① 電源スイッチ：アンプの ON と OFF を切替えます。

② フロント LED・インジケーター：アンプが ON の時はリングが点灯します。

　リアパネルの端子の接続の際には、誤ったノイズやダメージを内部回路に入れないよう、アンプはオフにしてください。

リアパネルの接続・名称

図２：リアパネル

スピーカーやケーブルの接続は、アンプの電源スイッチを必ず切って行って下さい。〈フロントパネルのリング状のライトが消えている状態です。）電源が入ったままスピーカー端子をグランド部分 (ボディ等）にショートされると故障の原因になります。

① Lch バランス入力端子

② Rch バランス入力端子・・・ブリッジ接続の場合にはこの入力端子を使用します。

NOTE：本機の Balanced XLR 端子は PIN 2 HOT です。

③ Lch スピーカー端子（- 出力）

④ Lch スピーカー端子（+ 出力） ブリッジ接続時はこの端子（- 出力）を使用します。

⑤ Rch スピーカー端子（+ 出力） ブリッジ接続時はこの端子（+ 出力）を使用します。

⑥ Rch スピーカー端子（- 出力）

本機はスペードプラグ（Y ラグ）スピーカーケーブルのみ使用できます。
バナナプラグや未処理のワイヤーは使用できませんので、必ず端末の処理をしてから接続してください。

⑦ リモート ON/OFF ミニプラグコネクター端子

注意：リモートコントロール端子は「ON / スタンバイ」の切り替えを行うためのオプション端子です。スイッチボックスはオプション品としてご用意いたしておりません。詳細は販売店または当社サービス課にお問い合わせ下さい。

⑧ AC 電源入力　15A のパワーケーブルをご使用下さい。標準ケーブルは同梱されています。

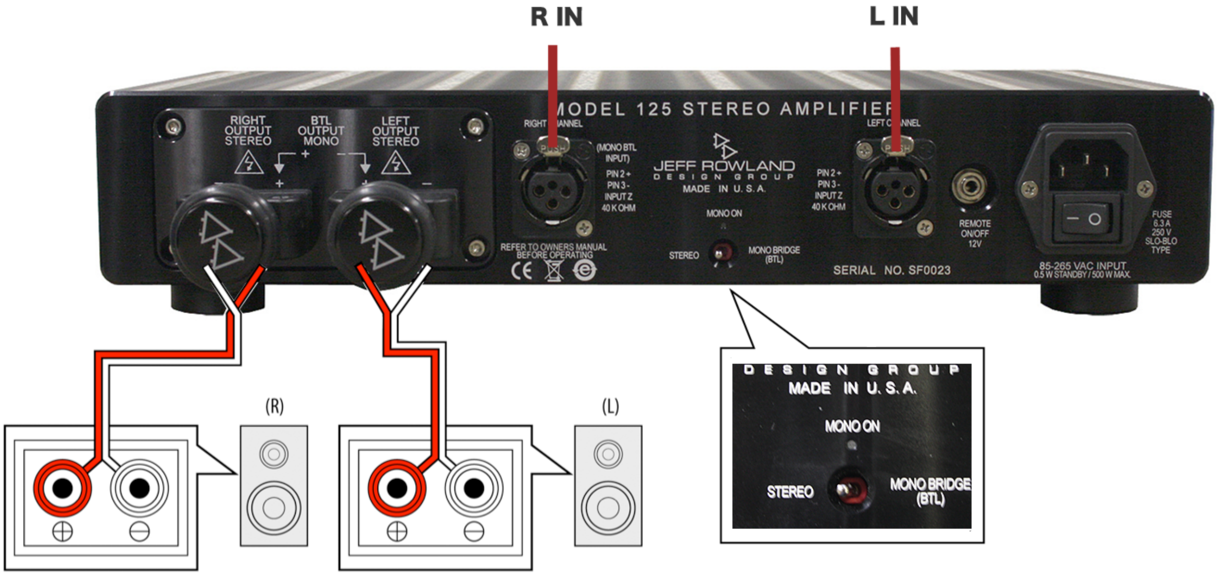
⑨ メイン電源スイッチ

⑩ ステレオ / ブリッジ (モノラル）モード切替スイッチ

⑪ ブリッジ (モノラル）インジケータランプ

本機はは販売店等のご試聴時に使用されているスピーカー切替えスイッチボックスなどを介しての使用はできません。スピーカーやアンプを損傷させる可能性がありますので絶対におやめください。。

接続：ステレオモード



⚠ 重要

ステレオモードとしてご使用される時は
このスイッチを必ず”ステレオモード”に
してください。

図３：ステレオモード時の接続

1，ステレオモードでご使用の場合には、リアパネルのステレオ / ブリッジ (モノラル) モード切替スイッチを写真のようにステレオ「STEREO」の位置に設定します。

2，Lch / Rch バランス入力にバランスケーブルをそれぞれ接続します。

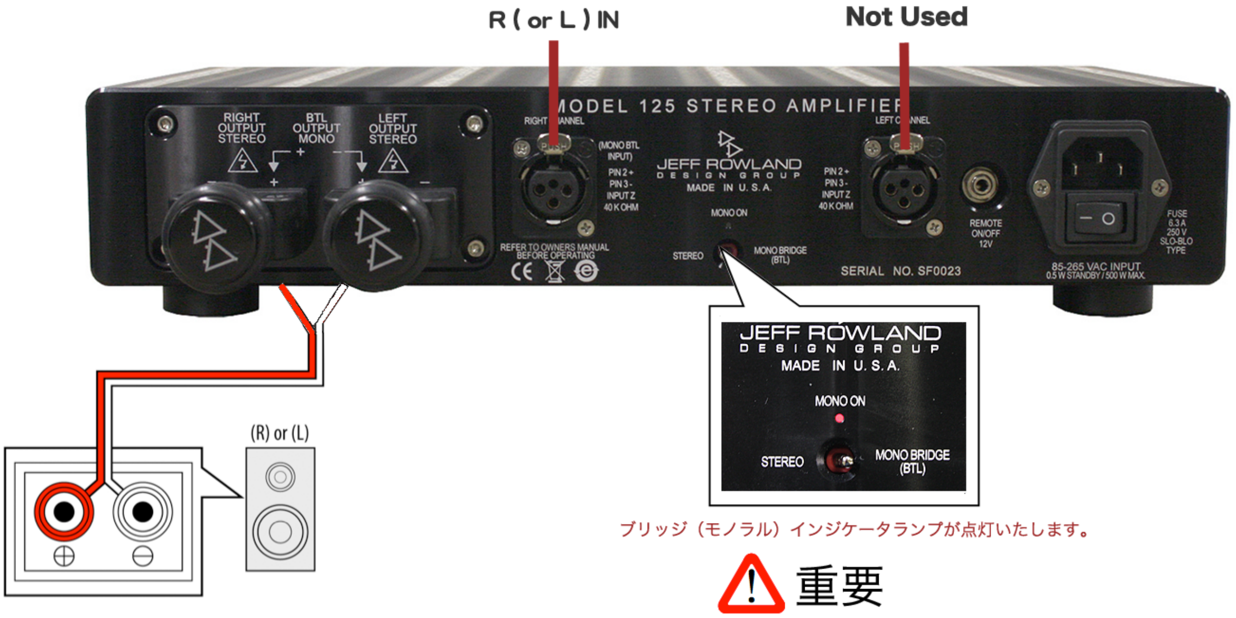
3，スピーカーケーブルを図３のように接続します。

4，AC パワーケーブルを接続します。

5，接続がすべて完了したらメイン電源スイッチを入れます。

6，入力側のプリアンプ等のボリウムが完全に下がっていることを確認し、フロントパネルの電源スイッチを入れます。

接続：モノラル（ブリッジ）モード



⚠ 重要

モノラル（BTL）モードとしてご使用される時は
このスイッチを必ず"モノブリッジモード"に
してください。

図４：ブリッジモード時の接続

1，ブリッジモードでご使用の場合には、リアパネルのステレオ / ブリッジ (モノラル) モード切替スイッチを写真のようにブリッジ「MONO BRIDGE (BTL)」の位置に設定します。

2，「RIGHT CHANNEL」に Lch（または Rch）バランスケーブルを接続します。
このとき「LEFT CHANNEL」には何も接続しません。
もう一台の Model125 にも同様に接続します。

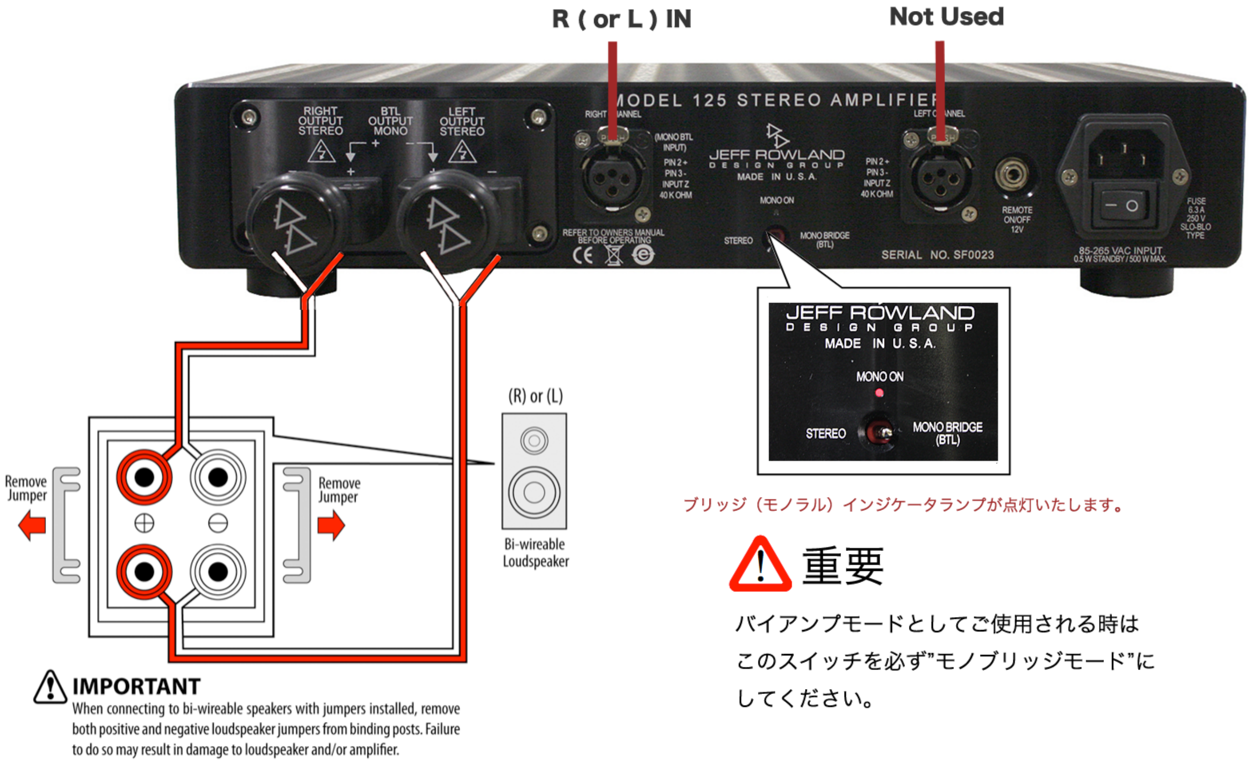
3，スピーカーケーブルを図４のように接続します。
もう一台の Model125 にも同様に接続します。

4，AC パワーケーブルを接続します。

5，接続がすべて完了したらメイン電源スイッチを入れます。

6，入力側のプリアンプ等のボリウムが完全に下がっていることを確認し、フロントパネルの電源スイッチを入れます。

接続：モノラル（バイアンプ）モード



ブリッジ（モノラル）インジケータランプが点灯いたします。

⚠ 重要

バイアンプモードとしてご使用される時は
このスイッチを必ず"モノブリッジモード"に
してください。

図５：バイアンプ時の接続

1，バイアンプモードでご使用の場合には、リアパネルのステレオ / ブリッジ (モノラル) モード切替スイッチを写真のようにブリッジ「MONO BRIDGE (BTL)」の位置に設定します。

バイアンプ使用のスピーカーに接続するには、スピーカーに付属しているシングルワイヤー用のジャンパーを外します。ジャンパーを外さないでバイワイヤーモードでご使用になった場合、スピーカー、アンプとも破損する恐れがありますのでご注意下さい。

2，「RIGHT CHANNEL」に Lch（または Rch）バランスケーブルを接続します。
このとき「LEFT CHANNEL」には何も接続しません。
もう一台の Model125 にも同様に接続します。

3，スピーカーケーブルを図４のように接続します。
もう一台の Model125 にも同様に接続します。

4，AC パワーケーブルを接続します。

5，接続がすべて完了したらメイン電源スイッチを入れます。

6，入力側のプリアンプ等のボリウムが完全に下がっていることを確認し、フロントパネルの電源スイッチを入れます。

故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に、下記の点を確認してみてください。

電源が入らない

・ＡＣ電源ケーブルは、正しく接続されていますか。
・コンセントに AC100V が通じていますか。

音が出ない

・オーディオケーブル（ラインケーブル、スピーカーケーブル）は、正しく接続されていますか。
・フロントスイッチを ON にしていますか。
・リアパネルのミュートスイッチが ON になっていませんか。

以上、上記の項目をご確認の上なお製品に異常が見られる場合は、お買い求めの販売店又は当社サービス課までご相談ください。

アフターサービスについて

・同封の保証登録書に必要事項をご記入の上、ご購入後１０日以内にご返送ください。折り返し当社発行の保証書をお送りいたします。規定通りの手続きをなさらないと、保証期間内でも有償修理となる恐れがありますので、ご注意ください。なお、「保証書」は製品無償修理の際、必ず必要となりますので、お客様ご自身で記載内容をご確認の上、大切に保存してください。

・保証期間はお買い上げより１年です。保証期間内に正常なご使用状態で起きた故障等は保証書記載事項に基づき、無償修理いたします。

・故障と思われる場合にはこの取扱説明書をよくお読みになり、再度接続と各部の動作、点検をしていただきなお異常のある場合には、お買い求めの販売店、又は当社サービス課までご連絡いただき、修理をご依頼ください。

Model 125　仕様

出力（連続 RMS W）：	125w×2（８Ω） 250w×2（４Ω） 500w×2（８Ω/BTL）ブリッジ接続時 /= モノラル仕様
周波数帯域：	5Hz-130kHz,-3dB
THD + ノイズ：	0.008%以下：1kHz
入力インピーダンス：	40 k Ω
ゲイン：	26 dB
ダンピングファクター：	> 500@1kHz
フェーズ：	Pin 2 Positive
入力端子：	バランス（XLR）1 系統
出力端子：	1 系統（Cardas 社製バインディングポスト採用）
消費電力：	アイドリング / 7W
シャーシ：	6061 ハードアルミ削り出し
重量：	3.5 kg
寸法：	W348xH68xD190mm

※本機の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先

株式会社 太陽インターナショナル

〒 103-0027

東京都中央区日本橋 2-12-9 日本橋グレイス 1F

TEL： 03-6225-2777（代表）

03-6225-2779（サービス課）

FAX： 03-6225-2778

ホームページ： http://www.taiyo-international.com

2014.6.25